

橋梁長寿命化修繕計画の市町村支援に関するアンケート調査結果

- 回答基準日：平成22年3月1日現在
- 調査対象：市町村支援の先進的な取組を実施している 8 県
- 回 答：8 県（回収率100%）

● 回答結果

1 橋梁点検関係

1) 橋梁点検の実施状況について

貴県内市町村の橋梁点検の実施状況は、次のどれに該当しますか。

項目	回答
ほとんどの市町村で点検が完了している	1 県 (12.5%)
ほとんどの市町村で点検を実施中である	6 県 (75%)
ほとんどの市町村で点検に未着手である	1 県 (12.5%)

2) 点検に関する要領やマニュアルなど(以下、点検要領という。)について

① 点検要領を統一していますか。

項目	回答
はい	4 県 (50%)
いいえ	4 県 (50%)

設問1-2)-①でアとお答えした場合

② どの機関で作成した点検要領を使用していますか。

項目	回答
貴県が独自に作成した点検要領	2 県 (50%)
「橋梁定期点検要領(案)」国土交通省 国道・防災課H16.3	0 県 (0%)
「道路橋に関する基礎データ収集要領(案)」国総研H19.5	2 県 50%
その他	0 県 (0%)

3) 点検実施に係る支援について

市町村が行う点検に関してどのような支援を行っていますか。(複数回答可)

項目	回答
講習会や現場研修会を行っている	8 県 (62%)
県が発注している	0 県 (0%)
発注時のアドバイスをしている	2 県 (15%)
県の機関や外郭団体の活用を促している	2 県 (15%)
その他	1 県 (8%)

その他の支援

一例として基礎データ収集要領による点検方法を示している。
強制でない。

2) 市町村橋梁長寿命化修繕計画関係

1) 市町村橋梁長寿命化修繕計画の策定状況について

貴県内市町村の橋梁長寿命化修繕計画の策定状況は、次のどれに該当しま

項目	回答	
ほとんどの市町村で策定が完了している	0 県	(0%)
ほとんどの市町村で策定に着手している	0 県	(0%)
ほとんどの市町村で策定に未着手である	8 県	(100%)

2) 市町村支援について

① 市町村の橋梁長寿命化修繕計画の策定に関してどのような支援を行っていますか。(複数回答可)

項目	回答	
学識経験者などの専門家からの意見聴取に関する支援を行っている	7 県	(35%)
協議会などの情報交換の場を設けている	1 県	(5%)
発注時及び策定時にアドバイスをしている	3 県	(15%)
外郭団体が策定業務を請け負っている	3 県	(15%)
県の機関や外郭団体の長寿命化修繕計画策定に係るシステムやソフトの活用を促している	3 県	(15%)
計画策定マニュアルなどを配布している	1 県	(5%)
その他	2 県	(10%)

その他の支援
点検や本県策定計画に関する説明会時に意見交換等を実施 計画策定に向けた講習会を行った。

設問2-2)-①でアとお答えした場合

② 学識経験者などの専門家からの意見聴取に関してどのような支援を行っていますか。

項目	回答	
県が一括して学識経験者などの専門家からの意見聴取を行っている	2 県	(29%)
県が市町村へ学識経験者などの専門家を紹介している	1 県	(14%)
その他	4 県	(57%)

その他の支援
本県が開催する検討委員会後に、意見聴取会を開催。
県と市町村が同時に意見聴取している。
県の計画策定のために学識経験者などの専門家による委員会を設置しているが、県内市町村の計画策定のために設置している委員会も同一メンバーにより構成し、さらに県がオブザーバーとして参加することで、県及び県内市町村の計画策定手法などの統一化、省力化及び審議の効率化を図っている。
外郭団体の顧問の専門家を活用している。

3 補修・補強工法関係

1) 補修・補強工法に関してどのような支援を行っていますか。(複数回答可)

項目	回答
工法選定基準や補修・補強のマニュアルなどを配布している	1 県 (12.5%)
講習会や現場研修を行っている	4 県 (50%)
長寿命化に資する新工法などの紹介	0 県 (0%)
その他	3 県 (37.5%)

その他の支援
補修・補強事例集を配布している
平成22年度以降、講習会等を実施予定
特に行っていない。